

オーノ にぎわい ワークショップ NEWS

みんなで盛り上げよう!

2024年1月21日(日)
第5回ワークショップ
at
kichika



ワークショップ堂々完結！ これからもにぎわいづくりは続く・・・

相模原市は、第1ステップとして、相模大野駅周辺地区を対象に、地域住民や事業者の皆さんが主体となって実現する「まちづくりのアイデア」を検討する「みんなで考えよう！オーノまちづくりワークショップ」を実施しました。ワークショップでは、参加者自らがまちを盛り上げるためにどんなことができるかを話し合い、学生や若者が起業などのチャレンジができる居場所づくり、相模大野中央公園を活用したスポーツや食のイベントなどを、「相模大野シビックアクションプラン」として、宣言しました。

第2ステップとなる今回の「みんなで盛り上げよう！オーノにぎわいワークショップ」

では、地域主体の持続可能なまちづくり活動につなげるため、実際に市民の皆さんが主体となって、事業の企画から運営まで一貫して携わり、令和5年11月19日(日)に公共的空間を使った実践イベント「ニューオーノキックオフ」を開催することができました。

最終回となる第5回は、1月21日(日)に kichikaにて開催しました。ファシリテーター こいずみ よういち 小泉瑛一さんの案内のもと、今回は、これまでの取組を振り返り、リフレクション(内省)することで、これまでの学びを定着させ、これからの相模大野のまちづくりにどのように関わるのかを考えます。

まとめと今後に向けて

第5回ワークショップのテーマは「まとめと今後に向けて」。
最終回となる今回は、これまでの自分自身の取組の振り返りと、
「ニューオーノキックオフ」について評価を実施。
また、これからも相模大野のまち盛り上げていくためには
どうしたらよいかを話し合います。

モチベーショングラフを描いてみよう

ワーク1では、個人でのリフレクションとして、イベント本番までのワークショップを振り返りながら、自分のモチベーションがどのように変化していったのかグラフにしていきます。

1年間続いたワークショップの期間中、発想を膨らませワクワクしていた、壁にぶつかり落ち込んでいた、イベントを終え達成感があったなど、自分自身の気持ちの変動を客観的に見つ

めていきました。作成したグラフは、これまでのチームをシャッフルしたグループ内で共有。これまでの各チームの取組状況の違いなども感じながらワークショップを振り返りました。

ファシリテーターの小泉さんからは、「ワークショップに正解はない。心の変化によって何を学びとして得たかが大事となる」との話がありました。



これからの活動に向けて

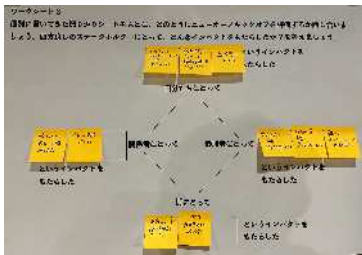
これからも相模大野のまちを盛り上げる活動をしていく際のサポートメニューとして、相模原市から地域活性化事業交付金制度の説明がありました。参加者にも交付金を活用して、相模大野のまちを盛り上げる事業を続けて欲しいとの話がありました。



また、ファシリテーターの小泉さんから、東池袋で実施されている「Cleanup&CoffeeClub（以下、CCC）」など他都市の活動事例がありました。CCCとは、ごみ拾いの後に参加者でコーヒータイムを設ける活動ですが、目的は、まちをきれいにすることだけでなく、地域で友達を作ること、そして地域活動を始める人を応援することだそうです。ごみ拾いという簡単な手段でも気軽にまちづくり活動はできると話がありました。

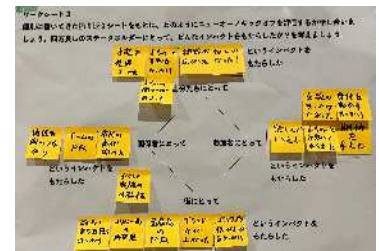
「ニューオーノキックオフ」を評価して、これからの活動につなげよう

ワーク2では、チーム毎に「ニューオーノキックオフ」の評価をします。まずは、企画を進めていく中で大変だったことや妥協したことなどを振り返りました。「カルチャー+ワーク+子育て」チームからは、「当初企画した絵本の読み聞かせが出来なかった」、「スタッフの数が足りなかった」、「打ち合わせの日程調整などが大変だった」などの意見があがり、「アウトドア・スポーツ+グルメ・マルシェ」チームからは、「安全面や規制の観点から、コリドー街を駆け抜けることができなかった」、「地域の関係者を巻き込みたかった」、「人員、予算が不足していた」などの意見があがりました。



「カルチャー+ワーク+子育て」チーム

続いて、第3回ワークショップで検討した「四方よし」のステークホルダーにどんなインパクトをもたらしたか?について、「相模大野の楽しさ自給率を上げる」という観点から検討しました。



「アウトドア・スポーツ+グルメ・マルシェ」チーム

最後に、今後の取組に向けて「まちにとってのインパクトを持続的かつ多様性豊かに与え続けるにはどうしたらよいか。」を話し合いました。「カルチャー+ワーク+子育て」チームでは、継続することが大切、PR、地域資源の活

用が重要といった意見があがり、「アウトドア・スポーツ+グルメ・マルシェ」チームでは、参加しやすく・開催しやすい企画、市や企業のサポートが必要といった意見があがりました。

カルチャー+ワーク+子育て

<p>【継続の大切さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民参加のイベントを継続すること 定期的に市内のあちこちでイベントを開催していく など 	<p>【PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代へイベントの周知を積極的に行う 取組をPRして協力を増やしましょう SNSの活用による告知・報告 参加者をしぼらず参加しやすいイベント など 	<p>【資源の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学とのコラボ 現存する団体等がバラバラでありもったいない 学生が多い街の特色を活かしたまちづくりなど
<p>【マインド】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に目標(夢)をもつ 学び続ける 他の街のイベントではなにをしているのか研究する 長い期間のステップアップを考えて実行していく 	<p>【場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> コリドー街に生徒・学生のため場をつくる 	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模大野の特色強味(オンリーワン)を活かしたコンテンツ作り 小学生発意の夢のトピラを企画 会場はオープンスペースも活用できると良い

アウトドア・スポーツ+グルメ・マルシェ

<p>【サポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> コリドー街で継続してイベントできるように道路整備の予算 地域一丸となって街をPRしていく 自治体、大学、商店街、スポーツクラブを巻き込む⇒いかを提 供できるか 活性化事業交付金の認知を広げる 今回の取組をど誰に誰1回やって誰に誰1回やると終わらない 	<p>【開催しやすく】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催のハードルを下げる(手続き・費用) 日や時間を選べない 	<p>【参加しやすく】</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントを継続してかかわる人を増やしていくノウハウの伝達が重要 途中参加OK(ボランティア) 学生の参加
	<p>【コリドー街】</p> <ul style="list-style-type: none"> コリドー街を歩行者天国にし誰でも何かできるチャレンジのできる街に変えていく コリドー(回廊)を全体的に使ったイベント コリドー街に行きたいお店を見つける 	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとが集まる空間、意識できる空間 「一日一善」の意識づけ

ワークショップを終えて

2つのステップで開催された相模大野のまちづくりワークショップも今回で終了！
ファシリテーターを務めていただいた小泉さんから、
ワークショップを振り返り、メッセージをいただきました。



ファシリテーター こいずみ よういち
小泉 瑛一さん

2022年の2月から始まった相模大野まちづくりワークショップが終了しました。第1ステップ「シビックアクションプラン宣言」、第2ステップ「ニューオーノキックオフ」を通して参加市民のみなさんと相模大野のまちについて考えてきました。これまでファシリテーターとして伴走してきたわけですが、今後も自分自身もっと相模大野のまちにコミットする方法はないかと考え続けています。

僕が個人的に配信しているポッドキャスト「Talking about your city」ではゲストの方に毎回「いいまちって何ですか？」と聞いています。いつも違う答えが返ってくるのですが、これを読んでくださっている方にも同じ質問をしたいと思います。あなたにとってのいいまちってどういうところでしょうか。そしてそこに至るには誰が、どうやって実現するのでしょうか。

自分が動き出そうと思ったときに仲間が必要でしたらいつでも呼んでください。少しはお力になれると思います。

加藤 南区長 コメント

相模大野駅周辺につきましては、既存の都市基盤を活用した地域主体の持続可能なまちづくりを進めています。こうしたまちづくりは行政だけではなく、地域の皆さんの力が不可欠です。

今回のワークショップでは、「わたしたちの相模大野を、わたしたちがもっと楽しく」をコンセプトに、まちの更なるにぎわい創出に向け、市民の皆さんが考えた企画を「ニューオーノキックオフ」と題して実施していただき、文字どおり新たなまちづくりに向けてキックオフすることができました。これからもたくさんの方がまちづくりに携わっていただくことで、まちが盛り上がり続けていくことを願っております。

南区役所といたしましても、このような取組が、より充実するよう地域の皆さんと一緒に取り組んでまいります。相模大野が、もっとにぎわい、住む人にも来る人にも愛されるまちとなるように一緒に盛り上げていきましょう！



かとう ひろみ
加藤 宏美 南区長

みんなで盛り上げよう！
オーノにぎわいワークショップNEWS第5号
発行日 2024年3月15日
作成 相模原市 南区役所地域振興課

発行 相模原市 南区役所地域振興課
TEL : 042-749-2135
E-mail : m-chikichiikishinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp